

町とつくる「ふるさと東川」

ひがしかわ東京会・連合会担当理事 佐渡 伸二



松岡町長の講演

私も「ひがしかわ東京会」の会則にある「郷土東川町の発展に寄与する活動」を検討する委員会の立ち上げが、昨年度の総会で横田会長から提案され承認されました。以降、中竹副会長を委員長に数度の検討委員会が開催されています。手始めに検討委員会が作成した町が実施中の多岐にわたる施策とその成果・課題についての質問集には、町当局からていねいにご回答いただき、着実に成果が上げられていることを知ることができました。町長以下、町関係者のご努力に敬意を表したところです。

さらに理解を深めるとともに「ひがしかわ東京会」にできることを探るべく、6月2日（日）に開催された「ひがしかわ東京会」の第8回総会の前に、強力なリーダーシップを発揮している松岡町長に「東川町の振興策」現

状と将来構想」と題して講演していただきました。「国道がない、鉄道がない、上水道がない」が旭川市や空港から至近距離で便がよく、北海道の主峰大雪山・旭岳の雪融け水が大地にしみ込んだ地下水を利用して上水道はゼロ。あるものは「おいしい水、うまい空気、豊かな大地」。その最高の条件のもと、めざすは定住人口8千人、応接人口（東川株主）2千人、計1万人のプライムタウン。そのためのまちづくりの視点など、わかりやすく意欲に満ちた講演でした。町長や町の幹部と会員との質疑応答では、率直で前向きな意見交換が活発になされ、初めての試みでしたが、ふるさとの未来をとくに展望することができました。

「ルーツ解明の楽しさ」

東京伊達会 高橋 郁夫



と判ったり、又奇蹟とも思えるような事もありました、全く未知の人物から「あなたのふるさとにいた〇〇という人のことを調べている」という問い合わせ、実は私もどうしても判らなかつた人のことだったので驚愕することしきり、今先祖につながる末孫同士としてお付き合いをしております。やってみなければ得る事のなかつた楽しさを味わっております。

位しか知らない状態でした。私が今何故存在するのかと云う事に興味を持ち、勤めを退いた後調査を始めました。調べるものには、戸籍・除籍謄本、寺や神社、図書館の古い資料、郷土史研究家等いろいろな伝手を頼りにやっておりますが、判明していく事に謎解きをした様な喜び、又先祖の名を冠した石碑を発見した時の大きな感動もありました。さらに、ふるさと会というの

今年の総会で会長となられた、森隆信様とは、広報部会でご一緒させて頂いた事がありました。『俺に任せておけ』という機関車タイプの頼もしい力強さを感じさせる方で、親しく絶大の信頼を抱いております。

さて、私達北海道にふるさとを持つ身として、先祖のこと、親族姻族の事等、どの程度認知しておりましたでしょうか。私の場合これらの事を認知する間もなく上京して参りました為、おじおば・いとこなど一部の親戚

雄規 安井 弁護士

(東京東神楽会 会長)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-13
虎ノ門上野ビル3階
安井・好川・渡辺 法律事務所
TEL 03(3580)1811(代)
FAX 03(3580)1812

積丹の拠点

道の駅 岩内
ホテル いのう
IWANAI HOTEL INOU



〒045-0011
北海道岩内町字栄161-1
TEL 0135-62-1391 (代)

●客室数
シングル 58
ツイン 8
宿泊料金
1名(朝食付)
6500円より